

— 豊潤な響きに酔う —

名古屋市文化振興事業団劇場パートナー公演

名古屋昭和

Nagoya Showa Symphony Orchestra

交響楽団

第4回定期演奏会

2023 **2.26** 日

開場 15:15

開演 16:00

名古屋市

昭和文化小劇場 ホール

●主催

名古屋昭和交響楽団

協賛 名古屋市文化振興事業団 [昭和文化小劇場]



# 名古屋昭和交響楽団

— 豊潤な響きに酔う — Nagoya Showa Symphony Orchestra

## 第4回定期演奏会

ワーグナー

### 歌劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より 第一幕への前奏曲

Wagner: Vorspiel zur Oper "Die Meistersinger von Nürnberg"

チャイコフスキー

### バレエ音楽「白鳥の湖」より

Tchaikovsky: Tirée du Ballet "Le Lac Des Cygnes"

- 1. 情景 (第2幕)
- 2. スペインの踊り (第3幕)
- 3. ナボリの踊り (第3幕)
- 4. ハンガリーの踊り (第3幕)
- 5. 情景・終曲 (第4幕)

- 指揮……………竹本 泰蔵
- 客演コンサートマスター ……平光 真弥
- 管弦楽……………名古屋昭和交響楽団

\*\*\* 休憩 20分 \*\*\*

ブラームス

### 交響曲第1番 八短調 作品68

Brahms: Symphonie Nr. 1 c-moll, Op.68

- I. Un poco sostenuto – Allegro
- II. Andante sostenuto
- III. Un poco allegretto e grazioso
- IV. Adagio – Più andante – Allegro non troppo, ma con brio – Più allegro

ご来場の皆様へお願い ～クラシックコンサートをお楽しみいただくために～



演奏中の私語は  
ご遠慮ください。



演奏中には  
物音がしないよう  
ご配慮ください。



携帯電話や  
時計のアラームは  
お切りください。



録音・録画・写真撮影は  
お断りしております。



客席内での飲食は  
禁止されています。



早すぎる拍手や  
ブラボーは  
ご遠慮ください。

## ごあいさつ

本日は、ご多忙の中、名古屋昭和交響楽団第4回定期演奏会 - 豊潤な響きに酔う - にご来場いただき誠にありがとうございます。皆さまからの大きなご支援により、おかげさまで本日、第4回定期演奏会を開催することができました。今日という日が迎えられましたのも皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

本日は指揮にカラヤン・コンクール・ジャパンで、ベルリン・フィルを指揮して第2位に入賞され、ベルリンを中心に研鑽を積まれた竹本泰蔵先生をお招きしてブラームス交響曲第1番、バレエ音楽白鳥の湖など名曲を演奏します。

名古屋昭和交響楽団は2019年4月に昭和文化小劇場を拠点に地域にオーケストラの魅力や音楽の楽しさを伝えるために発足し、皆さまのご支援のもと、コロナ禍の中でも5回の演奏会を開催することができました。本日の公演に向けて、団員一同、限りある時間を使い、今回取り組む作品に思いを込め、練習してきました。これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮し、皆さまに演奏を楽しんで頂ければ幸いです。

最後になりますが、本日まで熱心にご指導をいただきました竹本泰蔵先生、客演コンサートマスターの平光真彌先生、オーケストラレーナーの岡田望先生ならびに名古屋市文化振興事業団昭和文化小劇場の皆さま及びご理解、ご支援をいただいております全ての皆さまにこの場をお借りしまして厚く御礼申し上げますとともに、今後とも名古屋昭和交響楽団の地域に根差した活動を応援いただけますようお願い申し上げます。

名古屋昭和交響楽団 団長 加藤 裕文

本日は、「名古屋昭和交響楽団第4回定期演奏会」へのご来場誠にありがとうございます。

「名古屋昭和交響楽団」は定期演奏会やアウトリーチ活動を通じて昭和区の地域の皆さまに音楽の楽しさ、魅力を届けていらっしゃいます。そして劇場は、文化芸術を活用して、地域課題に対する取り組みとして、コミュニティの形成と再生のためのコーディネート機能を強化しています。

このような状況のもと、名古屋昭和交響楽団と昭和文化小劇場は「劇場パートナー」として、今年度も、昨年度同様に美術館や児童館でのアウトリーチコンサートやファミリー向けコンサートなどを企画し身近に音楽に触れる機会を創出し、文化芸術が活きるまちづくりへの貢献を続けてきました。早いもので、この活動も4年目を迎え、徐々に地域に浸透してきております。

定期演奏会も2020年からスタートし4回目を迎えました。第1回こそ新型コロナウイルス感染対策のため無観客公演でしたが、第2回以降は有観客で開催しております。今回の公演に向けての練習も、新型コロナウイルス感染対策をしながらの日々で、団員の皆さまの努力は大変であったと聞いております。

どうぞ、名古屋昭和交響楽団の日頃の活動の集大成である定期演奏会を、充分にお楽しみください。

名古屋市昭和文化小劇場 館長 森川 治朗

# プロフィール

指揮

## 竹本 泰蔵

1977年に開催されたカラヤン・コンクール・ジャパンで、ベルリン・フィルを指揮し、第2位に入賞。カラヤン氏に招かれて、ベルリンを中心に研鑽を積む。帰国後は全国の主要オーケストラに客演し、クラシック・コンサートはもとより、オペラ、バレエ、ミュージカルなど第一線で活躍中。名古屋芸術大学特別客員教授。特に、映画音楽分野での活躍はめざましく、生オーケストラ演奏と映像をシンクロさせた「ファンタジア シネマ・ライブ」公演(1991年)や、マイケル・ナイマン氏との「ピアノ・レッスン」組曲日本初演、ミシェル・ルグラン氏との「生誕80年記念ジャパンツアー」での共演、デヴィット・ヘルフゴット氏とのラフマニノフ作曲「ピアノ協奏曲第3番」共演など、歴史的なコンサートにも名を連ねている。映画音楽のCD録音にも積極的に参加。オリジナル・スコアを使用したキングレコードの企画「シンフォニック・フィルム・スペクタキュラー」シリーズ等、その録音数はすでに100曲を超えている。また映画で使われたサウンドを出来るだけ忠実に復元したオーケストラ楽譜を制作、数多くの名作映画を積極的にコンサートで取り上げている。さらに、自身の企画・構成による“映像付コンサート・シリーズ”を各地で展開。「ローマの休日」「カサブランカ」など往年の名画はもちろん、「トムとジェリー」やディズニー映画「ファンタジア」などのアニメーション映画も取り上げ、全国各地で好評を博している。



客演コンサートマスター

## 平光 真弥

愛知県立芸術大学音楽学部を経て同大学大学院音楽研究科修了。中村桃子賞受賞。ヴァイオリンを青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、Ewald Danel、岡山芳子の各氏に師事。指揮を紙谷一衛氏に師事。第11回日本クラシック音楽コンクール第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。併せて聴衆賞、オーナー賞獲得。2007年、2010年及び2012年小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風 音楽賞」受賞。2012年には講師特別賞を同時受賞。2000年～岐阜管弦楽団、2004年～2021年愛知室内オーケストラコンサートマスター、2022年4月～中部フィルハーモニー交響楽団常任客演コンサートマスターを務める。愛知県立芸術大学非常勤講師。平成29年度愛知県芸術文化選奨受賞。



管弦楽

## 名古屋昭和交響楽団



名古屋市昭和区を活動拠点にオーケストラの魅力や音楽の楽しさを伝えるため2019年4月に発足。2019年-2020年には名古屋市文化振興事業団の「ぶんしんパートナーシップ」団体として活動し、2021年4月より昭和文化小劇場の劇場パートナーとして活動。新型コロナウイルス禍においても感染予防に努めながら活動を続け、2020年に第1回定期演奏会、2021年には第2回定期演奏会と第1回サマーコンサートを開催。劇場パートナーとして昭和文化小劇場の支援を受けながら地域に愛されるオーケストラとして活動している。

オーケストラトレーナー

## 岡田 望

名古屋芸術大学器楽科(トランペット専攻)卒業。同大学研究生修了。トランペットを星順治、亀島克敏、栃本浩規の各氏に師事。古楽器奏法を竹本義明、マイケル・レアードの各氏に師事。チャールズ・シュルター、ジョゼフ・ドキシ、ジェームス・トンプソンのマスタークラスを受講。大学在学中より、NPO法人中部フィルハーモニー交響楽団に在籍し、14年間オーケストラプレイヤーとして活動する。2013年、同団を退団。演奏活動と同時に、指揮法、スコアリーディングを古谷誠一、稲垣雅之の両氏に師事し、コンクールバンドから市民オーケストラまで数多くの団体のトレーニングコンダクターを歴任している。基礎理論と自身の演奏経験に基づいた指導が評価され、幅広いジャンルのトレーナーとして音楽活動の場を拓いている。

# プログラムノート

## ワーグナー「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より 第一幕への前奏曲

Wagner : Vorspiel zur Oper "Die Meistersinger von Nürnberg"

この曲はドイツロマン派を代表する作曲家ワーグナーによって、1862年に作曲された。

これは15～16世紀のドイツ「神聖ローマ帝国」の職人組合の詩や歌に秀でた親方（マイスタージンガー）たちの歌合戦を題材とする楽劇が始まる際に演奏される最初の前奏曲であり、演奏に5時間以上も必要な長大な楽劇に出てくる主な旋律（動機）によって構成されている。半音階進行が多用された複雑な旋律が多いワーグナーの作品の中で、この曲には全音階進行も比較的多く使われており、親しみやすく「ワーグナーの響き」を味わうことができる作品でもある。そのため、この曲はワーグナーの多くの作品の中でもとりわけ人気が高く、演奏会で単独で演奏される機会も多い。

### 【作曲家 ワーグナーについて】

1813年ドイツのザクセン州ライプツィヒで生まれる。音楽好きな家庭で育ち、幼い頃から音楽に触れる機会が多く、音楽に関する本を読みながら独学で作曲の勉強をした。また、音楽のみではなく、オペラ（楽劇）の台本もすべて自分で書き上げ、自身の作品を上演するための劇場「バイロイト祝祭劇場」をつくる計画や設計までも自分で行い、オペラを「総合芸術作品」と位置づけた。

## チャイコフスキー バレエ音楽「白鳥の湖」より

Tchaikovsky : Tirée du Ballet "Le Lac Des Cygnes"

「白鳥の湖」は、ロシア生まれのチャイコフスキーが作曲したバレエ音楽である。そしてチャイコフスキーが発表した初めてのバレエ音楽であり、1877年にモスクワで初演された際の評判は芳しくなく、死後に改変が加えられ、1895年にサンクトペテルブルクで上演されて好評を得てから、今日までポピュラーで上演回数の多いバレエのひとつ

つである。

本日演奏会するのは、その30曲近いバレエ音楽「白鳥の湖」の中から抜粋された5曲であるが、どの曲も作曲家独特の魅力的なメロディー、リズム、そして色彩豊かなオーケストレーションに満ちあふれており、「チャイコフスキーの響き」を存分に楽しめるものになっている。

——怪しい闇の森に包まれた人知れぬ湖の辺り、王子と、白鳥に姿を変えられたオデットの、愛と感動の世界へ、しばしみなさまをご招待いたします。

### ■1. 情景（第2幕）

舞台は静かな湖のほとり。白鳥たちが泳いでいる。哀愁に満ちた「白鳥の主題」がオーボエで演奏される。

そこへ月の光が射し、白鳥が大変美しい娘、オデットの姿に変わり、王子ジークフリートはたちまち惹きつけられる。オデットは夜だけ人間の姿に戻ることができる呪いを悪魔にかけられていた。呪いを解くには男性に愛を誓ってもらうこと。そこで王子は、オデットに舞踏会に来るようにと伝える。

やがてドイツの王子ジークフリートの花嫁候補たちが各国から宮殿へ招待され、王子を射止めるべくそれぞれの民族舞踏が披露される。

### ■2. スペインの踊り（第3幕）

### ■3. ナポリの踊り（第3幕）

### ■4. ハンガリーの踊り（第3幕）

### ■5. 情景・終曲（第4幕）

悪魔の罠にはまった王子は悪魔の娘オディール（ブラック・スワン）をオデット（白鳥）と勘違いして結婚すると誓ってしまう。愛の誓いが破られたと嘆くオデット。そこへ現われた悪魔に王子は跳びかかり、激しい戦いに。王子は悪魔を討ち破ったもののオデットの呪いは解けなかった…。

場面は再び湖畔に。呪いが解けない絶望に自ら命を絶とうとするオデット。王子がオデットへの変わらぬ愛を訴えるが、オデットは湖に身を投げ、王子も後を追う。死をも恐れぬ二人の愛を前に悪魔は滅び、二人は天国で幸せに結ばれる。

——一人のダンサーが、オデットとオディールを演じ分けるところが、この作品の大きな見所となっている。

### 【作曲家 チャイコフスキーについて】

1840年ロシアのヴオトキンスクで生まれる。当初は大学で法律を学び、作曲家になる前は、法務省で役人として働いていた。感受性の強い年頃である14歳の時に、母を病気で亡くしたことが強い衝撃となり、後の彼の精神性や作品に大きな影響を与えることになった、とされている。（以上2曲 2nd Violin 村山 靖彦）

## ブラームス 交響曲第1番ハ短調作品68

Brahms : Symphonie Nr.1 c-moll. Op.68

ブラームスはバッハ、ベートーヴェンと並び、"ドイツの3大B"と言われるような大作曲家です。

交響曲第1番は、そんなブラームスが完成に20年以上の歳月を費やした大曲。ブラームス本人の思いは知る由もないですが、この曲は「ベートーヴェン10番」とも称されています。ベートーヴェンによって一つの頂点を迎えた交響曲というジャンルが現代でも作曲される、その礎となった重要な曲ともいえます。

曲全体は「暗」から「明」という分かりやすい構成。しかしながら色んな楽器が複雑に絡み合う重厚さがあります。そして楽曲の要所要所に、なにかヒントのようなものがちりばめられており、弾き手にとっても毎回新しい気づきがある奥深さがあります。今回の演奏にて、聴き手の皆様の中に新しい何か生まれれば幸いです。

### ■第1楽章

半音階の強奏と、ティンパニの力強い8分音符のリズムから始まる荘厳な序奏から交響曲第1番は始まります。短い序奏ながら、この曲が何たるか、を提示しているように感じます。

その後、音楽は緊迫感のあるアレグロに入り、様々なモチーフを展開しながら動的に進行していきます。

終始緊張感を持ったまま曲は頂点を迎えた後、今まで展開してきたモチーフを繰り返しながら、静かに重苦しく終結します。

### ■第2楽章

前の楽章から雰囲気が一転した緩徐楽章です。とはいえ、どこか強い決意や痛ましさのようなものが感じられ、決して気を緩めることはできない楽章です。

この楽章は最初のオーボエ、そして楽章最後のホルンとバイオリンのソロが特に印象的です。全体を通し、各々のソロとオーケストラが交互に美しくも情熱的なフレーズを紡いでいきます。

最後はバイオリンソロがゆったりと上昇形の分散和音を弾き上げ、ホ長調の高潔な響きが残ります。

### ■第3楽章

心が落ち着くような牧歌的な曲想の楽章です。

音楽は少しずつ躍動感を増し、その後中間部では突如転調し、より幻想的な雰囲気を帯びてゆきます。

最初のモチーフを短調で鳴らしたところで頂点を迎えた後、緩やかに前のフレーズを繰り返していき、そっと本を閉じるようにこの楽章は終わります。

### ■第4楽章

第1楽章をどこか思い起こさせる、重々しく、且つおどろおどろしい雰囲気から4楽章は始まります。かき乱すような激しさを経た後に、ホルンとトロンボーンが気高いコーラルを奏で、そして勝ち誇るようにバイオリンがテーマを歌います。

中間部では煌びやかなメロディ、勇ましいメロディ、戦うようなメロディが次々と展開されていきます。

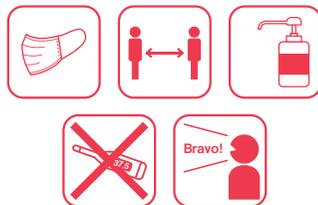
過去を思い起こすかのようにコーラルが再現された後、転調をしつつも何事もなかったかのようにまた音楽は進行します。

そして最後は畳みかけるようにクライマックスへ向かい、そのまま高らかに音楽を締めくくります。

（1st Violin 渋谷 敦）

## ご来場のお客様へのお願い

- 入場時の手指のアルコール消毒にご協力ください。
- 公演中も含め館内ではマスクを着用いただき、咳エチケットにご協力ください。
- 熱のある方(37.5℃以上)、体調のすぐれない方は来場をお控えください。
- 入場時の検温にご協力ください。体温の高い方には入場をお断りいたします。
- 公演中のお席の移動はご遠慮ください。
- ブラボー等掛け声はお控えください。
- 保健所等関係機関からの要請があった場合には、お客様の情報を開示することがあります。



## アンケートへのご協力をお願いいたします

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、WEBにて感想をお聞きしています。  
右のQRコードよりアンケートのご協力をお願いいたします。



## 名古屋昭和交響楽団

@showasymphony @NagoyaShowaSymphonyOrchestra

[Email] [showa.symphony@gmail.com](mailto:showa.symphony@gmail.com)

[H P] <https://showa.symphony.com>



2019年4月にオーケストラの魅力や音楽の楽しさを伝えるため発足。昭和文化小劇場の劇場パートナーとして劇場からの支援を受けながら地域に愛されるオーケストラとして活動しています。

- 練習: 年2回の演奏会ではプロオーケストラの第1線で活躍するプロの指揮者をお迎えして高みを目指して演奏に取り組んでいます。通常の練習では、毎回、オーケストラトレーナーの岡田望氏や客演コンサートマスターの平光真弥氏にお越しいただき、アンサンブルの基礎や奏法、演奏マナーや楽典など、独学ではなかなか身につかないことを、プロ演奏者からご指導をいただき、日々の課題をクリアしていくことに努めています。
- 活動: 年に2回の演奏会(定期演奏会・サマーコンサート)を開催しています。そのほかにも昭和区まちなかコンサート等、行政や名古屋市文化振興事業団主催の諸行事にも参加させていただいています。
- 団員: 主に社会人で構成しています。高校生~60代まで幅広い楽器経験者が、それぞれの貴重な時間をあわせて集まっています。
- 練習日: 日曜日夕方(18時~21時) 月3回程度 ☆詳細はホームページをご覧ください。

### ■活動趣旨【設立理念】

当団は、以下の設立理念に則り、演奏活動を通じて文化芸術が活きるまちづくりに貢献することを目的として活動します。

- ①音楽の好きな区民・市民の楽しみ場、交流の場、活躍の場を創出する。
- ②音楽を通じて、昭和区の子どもたちに心の豊かさを育む機会を提供する。
- ③昭和文化小劇場を拠点として地域との連携をはかり、相互の発展に資する活動を展開する。

### ■活動方針

設立理念及び活動趣旨を実現するために、以下のとおり活動を進めていきます。

- 多数の作曲家や楽曲を広く紹介する定期演奏会の開催
- 幅広い世代が楽しめるファミリーコンサートを開催する。
- コンサート会場に限らず必要とされる場所に赴いて音楽を届ける。
- 区内外の各種団体、地域コミュニティ等との連携を図るものとする。
- 音楽と真摯に向き合い、団員同士、明るく、楽しく取り組むものとする。

## 第3回サマーコンサート 2023 8.12 Sat. 名古屋市昭和文化小劇場

映画音楽からアニメ主題歌までオーケストラを楽しむコンサート!  
0歳から楽しめるコンサートも開催します。

入場無料(要整理券)